

事務局提案

第 5 回大島地区学校適正配置地元代表協議会

R8.6.13（土） 施設見学会

R8.6.29（月） こども園への説明会

R8.7.2（木）～7.10（金） 保護者アンケート

R8.7.28（火） 第 5 回地元代表協議会

教育環境としての統合校①

統合の是非

保護者アンケート

吉海	宮窪	合計
36人/38人	21人/24人	60人/66人
95%	88%	91%

※必要だと思う、やむをえないと思う、の合計

主な目的) 複式学級の解消

児童の教育環境として望ましくない

児童の負担軽減（授業準備等）

学校運営上の対応力低下（配置教員数による余裕度のなさ）

一定数の教員数を配置し、望ましい教育環境を提供する



一人一人に目が届く教育環境

時代による新たな課題に対応できる体制

統合により実現する（基本方針）

教育環境としての統合校②

議論の内容

保護者アンケート		吉海地区		宮窪地区		合計	
吉海小	29/36	33/36	81%	0/21	0/21	29/60	34/60
			92%	0%	0%	48%	57%
宮窪小	3/36	7/36	8%	21/21	21/21	26/60	31/60
			19%	100%	100%	43%	52%
※赤字は「協議会での結論に任せたい」を含めた数字・割合							

場所

小学校同士の統合

※小中一貫校は困難
(大島中学校校舎の活用は、普通教室数が不足)

魅力化・特色化

大島島内での学校存続

●宮窪小学校校舎

- (地域) それぞれの行政区域に地域の生活拠点
- (施設) 16年経過 (H21築) : 設備充実
健全度スコア 校舎100点/体育館100点
比較的新しく、長期活用に適する
- (災害) 小学生向け施設として、安全性が高い

●吉海小学校校舎

- (地域) 集約 (保小中) の効果が高い
- (施設) 46年経過 (S54築) : 旧耐震基準対応済
健全度スコア 校舎50点/体育館75点
補強済だが、老朽化と合わせた潜在リスクあり
- (災害) 小学生向け施設として、安全性が低い

地域として子どもを育てる地域 (大島) として

小学校 : 宮窪町

中学校 : 吉海町 と、それぞれの地域を巻き込む環境

※小・中ともに吉海町にあると、宮窪町の人と触れる機会が減る

↓

※子どもの数が少ない中で、多様な大人との触れ合いを通じて、
社会性、聞く力、話す力を育成する (多くの大人と触れ合う機会が必要)
●能島城跡、村上海賊ミュージアムなど地域教育資源として活用可能

物理的に小中学校が近いことで、小中連携が容易

●中学校 : 免許を持った専科教員による指導

↓

※中学校の教員配置は最低限の配置であり、通常の学校運営で精いっぱいであり、余剰を抱えている訳ではない。

教育環境としての統合校③

事務局としての評価

評価観点	吉海小校舎	宮窪小校舎	差異の大きさ
施設築年数	△ 46年（S54年築）	◎ 16年（H21年築）	大
耐震基準適合	△（補強済）	◎（新耐震）	中
施設面積・収容規模	△ 校舎延床3,264㎡ 3階建て・RC造	○ 校舎延床3,477㎡ 2階建て・RC造	中
改修予想コスト（※） （校舎のみ）	△ 7.8億円（改修費用）	◎ 維持費のみ	大
幼小保連携・安全度	○ 大島中学校連携に優位 土砂○、高潮▲、津波△	○ 中学校との距離が課題 土砂×、高潮○、津波○	小
交通インフラ （徒歩・スクールバス）	△（徒歩）歩道なし （バス）増便の必要性あり	○（徒歩）歩道なし （バス）再設計が容易	中
地域コミュニティ機能	○ 災害拠点 中学校との複合化・将来的可能性	○ 災害拠点 観光資源（教育活用資源）	小
総合評価	△～○	○～◎	

※単価：校舎238千円/㎡、体育館280千円/㎡（長寿命化改修）。
増築・当別支援教室整備費は含まない。

教育環境としての統合校④

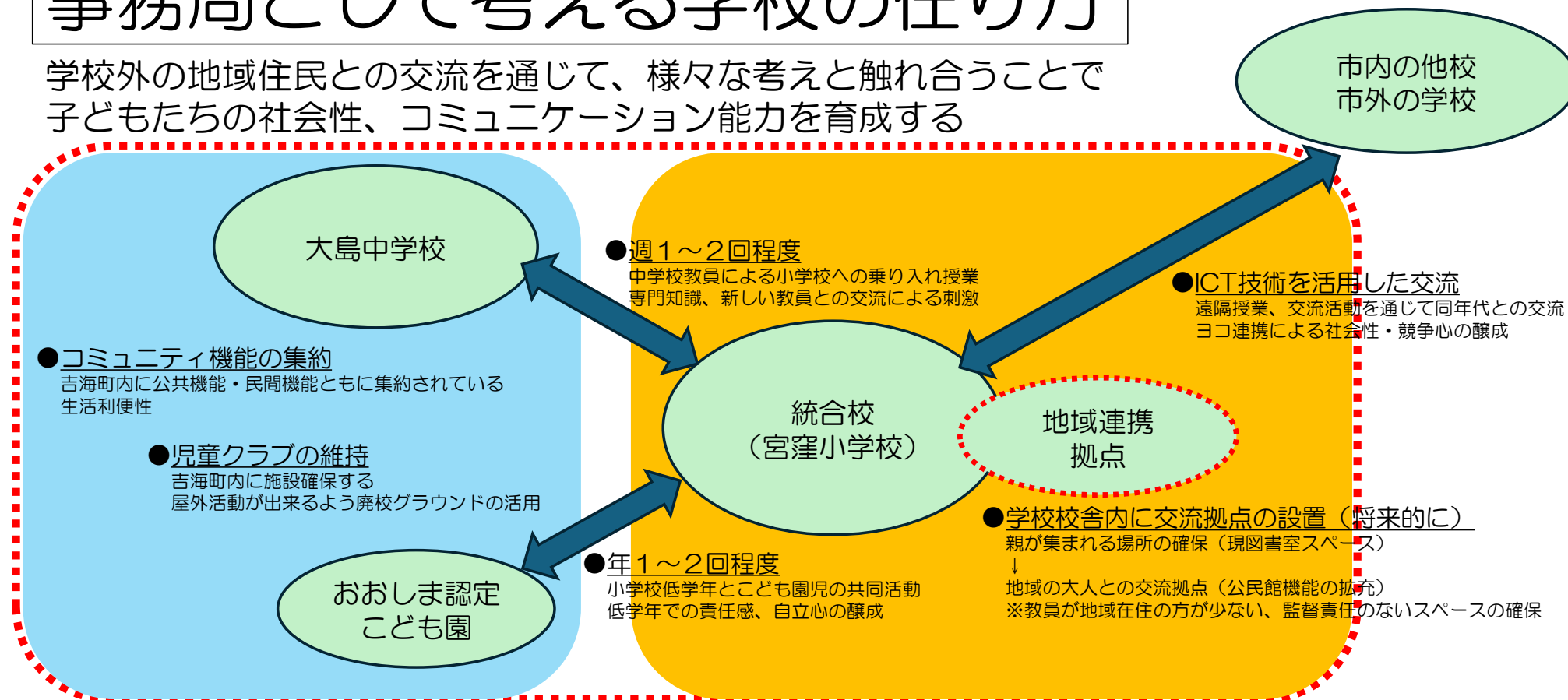
事務局として考える意思決定の優先軸

優先軸	推奨案	根拠
財政合理性・施設維持コスト	宮窪小学校への統合	改修コスト差 7.8億円
教育的連携・将来の小中一貫化	吉海小学校への統合	大島中学校との隣接・施設一体化の可能性
安全通学利便性（バランス）	宮窪小学校への統合	施設・地盤面での優位性。バス対応は両案とも必要。
地域コミュニティへの配慮	どちらも同程度の課題	廃校側の代替機能確保が必須

教育環境としての統合校⑤

事務局として考える学校の在り方

学校外の地域住民との交流を通じて、様々な考えと触れ合うことで子どもたちの社会性、コミュニケーション能力を育成する



教育環境としての統合校⑥

特色化・魅力化

地域資源を生かした探究型学習の充実・多様な人との交流機会の充実

